

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報							
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要				
日比谷公園大音楽堂			(指定管理者名) 東京南部パークスグループ (団体の概要)公益財団法人東京都公園協会、大星ビル管理株式会社、及び株式会社共立が共同事業体として管理する。				
指定期間							
R5.4.1 ～ R6.9.30(1年6カ月) R6.11.1 ～ R7.9.30(11カ月)							
2 施設名		3 収支(単位:千円)					
日比谷公園大音楽堂			令和7年度	令和6年度②	令和6年度①	公園別支出額	
		項目	金額	金額	金額		
		収入 計	36,126	32,543	37,888	日比谷公園大音楽堂：36,082	
		内 訳	指定管理料	36,126	32,543	37,888	
			利用料金	0	0	0	令和6年度① 指定管理期間 R6.4.1 ～ R6.9.30(6カ月)
			その他収入	0	0	0	令和6年度② 指定管理期間 R6.11.1 ～ R7.3.31(5カ月)
		支出 計	36,082	31,236	36,973		
収支差	44	1,307	915				
4 管理運営の概要							
音楽文化の発信拠点として100年以上もの間レガシーを支える中心的な役割を果たす。 ①組織体制と役割分担、職員の技術・能力向上への取組 ②質の高いサービスを提供するための具体的な取組 ③利用者要望の把握と施設の特性を活かした利用方法などのアドバイスや提案 ④地域コミュニティとの連携による施設の魅力や地域の価値の向上につながる取組 ⑤施設の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の実施							
5 管理状況							
①維持管理							
再整備事業が控える中、経年劣化が進んでいる施設・設備につき、予防保全を念頭に適切な日常管理及び定期保守点検並びに適切な補修工事の実施による催事開催時の不具合発生による利用者へのリスク軽減等を図る取組を行った。 ①日頃の維持管理で蓄積した履歴の活用による各設備機器の点検を実施 ②各種法令の遵守と法定点検実施による作業の安全と施設の安全を確保 ③適切な施設補修工事等の実施 ④公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の実施 ⑤工事の発注から現場確認等工事監督、工事完了時の完了検査等を安全、確実に実施							
②利用者への対応							
①再整備事業を踏まえ、受付電話対応並びに下見・打ち合わせ等を適切に利用者対応したことで、苦情や事件・事故等発生はなく、利用者からは非常に高い評価を得ることができた。 ②休館にあたり、日比谷公園内各施設をはじめ丸の内警察署及び丸の内消防署と連携し、各種問い合わせへの対応等スムーズな施設のクローズ業務を実施した。 ③休館にあたりクロージングイベントとして企画した「ファイナルコンサート」及び「日比谷野音オープンデー2025」並びに日比谷公園再生整備事業の状況を踏まえた「日比谷音楽祭2025」を実施したことで、施設の魅力向上並びに地域の活性化に貢献した。							
6 利用者アンケート結果							
実施方法：大音楽堂を利用した団体へ当日アンケート用紙を配布し記入							
施設名	総合満足度	利用者サービス	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応		
日比谷公園大音楽堂	4.9	4.6	4.6	4.6	5.0		
7 入園者数の状況(単位:人)							
施設名	当該年度	分析					
日比谷公園大音楽堂	157,659	休館による集会開催、PV撮影利用等の減少により、約1.6万人減少(前年4～9月173,586人→157,659人)					
合 計	157,659						

日比谷公園 大音楽堂

所在地：千代田区、千代田区／敷地面積：0.57ha

多くのアーティストたちが様々な世界観をつくりあげ披露する
聖地・殿堂「日比谷野音」



「～日比谷野音 The Final～」と題しクロージングイベント開催

野音に縁のあるアーティストらによるファイナルコンサート開催

クロージングイベントの一環として、3代目野音の歴史を踏まえ「ロックの聖地」「フォークの殿堂」「J-POP」の各ジャンルにおける野音に縁のあるアーティストに協力を依頼し、3代目・日比谷野音のフィナーレを飾る「ファイナルコンサート」を開催。

9月21日（日）「南こうせつ東京フォークジャンボリーin野音～日比谷野音 The Final～」(来場2,400人)、9月27日（土）「Char Live 2025～日比谷野音 The Final～」(来場2,700人)、9月28日（日）には3代目野音の最多公演数を誇るエレファントカシマシの「～日比谷野音 The Final～ 俺たちの野音」(来場2,800人)を開催し、多くの観客が3代目野音の名残を惜しんだ。各アーティストは3代目野音に深い思いを有していることもあり、ファイナルに相応しい特別なセットリストで公演し、楽曲の合間には野音の魅力や思い出が語られたことで、野音の存在意義や価値を改めて周知することができた。公演終了後にはテレビ、新聞、Webなどメディアにも多数取り上げられた。特にテレビではNHKをはじめ民放各社での放送、新聞では大手新聞社による特集など全国へ3代目日比谷野音の魅力をPRするとともに、4代目野音への期待を高めることができた。



9/21 南こうせつ



9/27 Char



9/28 エレファントカシマシ

「日比谷野音 The Final 日比谷野音オープンデー」開催

クロージングイベントの一環として3代目野音最後のオープンデー

9月23日(火・祝)に3代目野音最後のオープンデーを開催。ファイナルコンサートに出演したアーティストらの楽器展示をはじめ野音に縁のあるアーティストの衣装、日比谷音楽祭をはじめ野音で繰り広げられた様々なコンサート時の写真展示を行った。また建物のドローン撮影映像や日比谷音楽祭のステージ設営・撤去映像、改修前の座席なども展示。記念品ステッカー配布や、思い出を書き込めるメッセージボードも設置した。

休館前最後のオープンデーとして新聞、SNS等でも取り上げられ、**来場者数は例年を大幅に上回る過去最多の約4,000人を記録**した。また、予想を上回る来場数であったことから、急遽終了時間を2時間延長するなど、状況に応じて臨機応変に対応したことにより、来場者からは感謝の言葉を多数いただいた。アンケート結果(292件)においても「最後に見ることができてよかった」「良い思い出になった」等好評を博した。

日本テレビ「news every.」「news zero」、フジテレビ「めざましテレビ」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」、NHK「おはよう日本」など当日および翌日以降の報道番組や情報番組にて放送していただいたことで、**全国へ野音の歴史や果たしてきた役割、魅力を発信することができた。**



場内風景



展示風景①



展示風景②

「日比谷音楽祭2025」開催

日比谷公園再生整備事業を踏まえた有観客と生配信のハイブリッド開催

今回7年目となった「日比谷音楽祭2025」は、日比谷公園再生整備事業に伴い小音楽堂と噴水広場が工事中となる一方、昨年から会場となった第一花壇、健康広場、2024年9月にリニューアルした芝庭広場（旧第二花壇）とにれの木広場を会場に開催した。

5月31日(土)・6月1日(日)の2日間にわたり、今回も「フリーでボーダレスな音楽祭」をテーマに全てのプログラムを無料で開催するとともに、今年も**有観客+オンライン生配信の2本立てにて実施**した。初日の雨の影響により、昨年よりは減少したものの**2日間で延べ14万5千人の来場者**にて大盛況にて開催することができた。

U-NEXTでの動画配信では、**視聴者数約20.3万人、総再生回数約36万回**とリアルタイムの臨場感や一体感を伝えることで、同じ空間でなくてもイベントへの没入感を高めることができた。また、来場が難しい遠方や海外へも当音楽祭の魅力を伝えることができた。

翌日の情報番組等（TV 7 件、ラジオ 7 件、新聞25件、Web527件他）でも多数取り上げられ、**日比谷音楽祭を通じて、日比谷公園と大音楽堂の価値と魅力をより多くの方に伝えることができた**。また、大音楽堂でのアンケートでは、今年で7回目となったこともあり、リピーターが増えるとともに、新たな音楽ジャンルに触れられる1日であったなど、素晴らしいかった、感動した等ほぼ全員が満足したとの回答であった。



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 1



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 2



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 3

適切な管理の履行

老朽化設備の補修による安全・快適な施設の維持

経年劣化が進み頻繁に不具合が発生していた上手電動シャッターの取り換えを行ったことにより**舞台機材の搬出入がスムーズとなった**。また楽屋口門扉および2階鉄扉修繕、搬入口カーストッパー補修等実施したことで、**催事開催時の不具合発生による利用者へのリスク軽減と予防保全を図った**。



電動シャッター取替工事



搬入口カーストッパー
補修工事

広報・PR等の取組み

大音楽堂の魅力やレガシーを発信

今回の休館にあたり企画した「クロージングイベント」について積極的にPRを行ったことにより、**NHK、日本テレビ、フジテレビ、テレビ東京、毎日新聞、産経新聞、東京新聞**等多くのメディアに取り上げられ、3代目野音の果たしてきた役割、魅力を発信することができたとともに、**4代目野音に向けた機運を高め、多くの方々に関心を持っていただく機会**となった。

都からの要請への協力・対応

再整備事業への協力等

大音楽堂再整備事業に関して、**視察や委託業者の現場調査他各種催事データの作成、提供及び情報連携**等日比谷公園施設再生担当からの協力依頼への対応をはじめ、管理許可を受けている野音内売店への連携、9月末閉館に向けたスムーズな撤収作業の実施等、都からの指示、協力要請について、積極的かつ適切に協力・対応を行った。

集客数	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
① 有料席（ピクニック広場等）	26	41	20	29	9	21	40	206
② 有料席	22	18	20	27	9	21	40	167
③ フォーク	2	2	2	1	0	0	0	5
④ アカペラ	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ アカペラ・他楽器	2	0	0	2	0	0	1	5
⑥ 音楽隊・他楽器	3	2	1	2	0	0	2	10
⑦ オンライン・他楽器	3	2	0	4	1	0	2	12
⑧ オンライン・他楽器（ライブ配信）	3	0	1	0	0	0	0	4
⑨ その他（他楽器）	2	1	0	4	43	17	10	85
合計	64	70	44	67	19	38	53	361

※観客動員数（ライブ）2020年度19、2021年度53

集客数	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
① 有料席	1	13	0	0	0	0	0	14
② 有料席	13	13	0	0	0	0	0	26
③ 有料席	12	0	0	0	0	0	0	12
④ その他（有料席・ライブ配信）	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	26	0	0	0	0	0	52

その他	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
① 観客・他楽器	0	1	1	1	0	0	0	3
② その他（観客・他楽器）	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	1	1	0	0	0	3

使用実績等催事データ